

平成29年第4回定例会 一般質問内容一覧

日時 平成29年12月5日（火曜日） 午前9時30分から

場所 新宮町役場 3階 議場

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	庵原 伸一 議員	1) 歩行者にやさしい道路整備を	<p>第5次総合計画・後期基本計画の第4章中、道路網の整備と道路環境の充実における施策、③生活道路の整備の中に「歩行者の安全確保のため、バリアフリーに配慮した町道の歩道整備を推進するとともに、狭隘道路の拡幅及び側溝の改修を計画的に実施します」とあるが、立花口区の佐屋地区、緑ヶ浜2丁目及び緑ヶ浜4丁目の一部では未整備の箇所が多数ある。</p> <p>これら地域は高齢化が進んでおり、安全確保のためには早急に整備が必要と考えるが次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、未整備地域における現在の側溝蓋の設置状況は。 2、側溝整備や側溝蓋設置の完成予定の時期は。 3、個人で蓋やグレーチングを整備されている側溝が複数箇所見受けられるが、事故が起きた場合の責任の所在は。 	町長
2番	横大路 政之 議員	1) ター「メジロ」の使用開放・利用拡大について	<ol style="list-style-type: none"> 1、ホームページや町の封筒のトップを飾る「メジロ」のマスコットキャラクターがいつ・どのように誕生したのか経緯を伺う。 2、全国的にゆるキャラが脚光を浴びているが、新宮町もすでに存在するキャラクターに名前を付けて表舞台に立たせ、多方面での活用を検討すべきと考えるが見解を伺う。 	町長
3番	大牟田 直人 議員	1) 住民ファシリテーターの育成を	<p>現在、町では行政懇談会や支え合いのまちづくりを推進する協議体「しんぐるっと」などを通して、住民の意見を吸い上げる取り組みがなされており、協働のまちづくりが進んでいると感じる。しかしながら、協働のまちづくりをさらに進めるためには、行政主体ではなく、住民主体で意見交換をする機会が増えることが必要だと感じる。</p> <p>全国には、対話の場でたくさんの意見を引き出すスキルや、自由な雰囲気をつくるスキル、参加者の合意を図るスキルを有する住民ファシリテーターを育成し、協働のまちづくりを加速させている自治体が多く存在するが、町長の見解は。</p> <p>また、町でもファシリテーターを育成できないか。見解を伺う。</p>	町長
		2) 協議体「しんぐるっと」の更なる活性化を	<p>町では、今年度より「しんぐるっと」が発足し、昨年度の「支え合いのまちづくり推進会議」に引き続き、町の課題を解決するためのアイデアについて対話が行われており、支え合いのまちづくり、協働のまちづくりの一端を担っている。</p> <p>協議体の参加者がやりがいを感じることが、協働のまちづくり、支え合いのまちづくりを加速させると感じる。そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① これまで出された意見について、関係各課で情報共有がなされているのか。 ② 出された意見に対して、行政から反応があると参加者の意見がまちづくりに活かされていると感じ、やりがいにつながると思うが、意見への対応について伺う。 	町長
4番	森 秀司 議員	1) 農地を復活するために	<p>農業従事者の高齢化の進行とともに、後継者不足による農地管理の放棄で荒廃農地が増加している。加えて鳥獣による農作物の被害が予想を超える範囲まで拡大し、農業者の生産意欲が奪われているために益々農地の荒廃が進む悪循環に見舞われている状況である。</p> <p>そこで、この悪循環を止めるために次の3点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、鳥獣被害対策について <ul style="list-style-type: none"> ・各地区における具体的な被害の現状とその要因は。 ・現在、対策としてどのような取り組みが行われているのか、また今後、現体制でその対応は十分にできるのか。 ・今後の被害を減少させる取り組みとして考えられる対策の検討は。 2、後継者の支援策について <ul style="list-style-type: none"> ・若手後継者は今何人位おられるのか、また今後における若手後継者の就農傾向をどのように分析しているのか。 ・若手後継者が規模拡大を希望する時の支援策は。 ・若手後継者の経営安定化に向けた取り組みとしてできることは。 3、農業地域におけるこれからの展望は <ul style="list-style-type: none"> ・特産品や高付加価値農産物の研究・普及の進捗状況は。 ・町長が描く、将来に向けた農業地域の全体像は。 	町長
5番	上畝地 白馬 議員	1) 地域振興につながる大人が学べる仕組みづくりを	<p>山形県高畠町では、各分野の最前線で活躍している方を講師に迎え、教科の授業や起業、農業、ものづくりなどが学べる大人向けの学校「熱中小学校」を運営し、次世代の地域の担い手を育てている。</p> <p>本町でもさらに地域振興を進めるには、核となる人材が必要であり、次世代の地域の担い手を育てるためには、大人が学べる仕組み作りが必要だと考える。</p> <p>そこで、以下のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①次世代の地域を担う人材育成の現状は。 ②起業、農業、ものづくりなどが学べる大人向けの学校など、大人が学べる仕組みづくりはできないか、見解を伺う。 	町長
		2) 町民が主体的にまちづくりに参画する仕組みづくりを	<p>横浜市では、市民が地域の特性を生かした身近な生活環境の整備を、自ら主体となって考え作りあげる「ヨコハマ市民まち普請(ふしん)事業」を実施している。</p> <p>協働のまちづくりを進めている本町でも、生活環境の整備に対して住民がアイデアを出し、主体的に活動を進める仕組みを作れば、町の事業に愛着が湧き、協働のまちづくりがさらに促進されると思う。</p> <p>そこで、以下のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生活環境の整備などに、町民自ら参画するような取り組みについての現状は。 ②町民主体で進める、普請(ふしん)事業などはできないか、見解を伺う。 	町長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。是非ご覧ください。

※お手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。是非ご覧ください。

※議場での傍聴希望の方は、当日午前9時から受付を行ないますので、**役場議会事務局前**へおいでください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しください。